

患者さんへ

「当院における陰圧閉鎖療法の治療成績について」

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。

このような研究では、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得ることが困難な場合には、研究の目的を含む研究の実施についての以下の情報を公開することが必要とされています。

1 研究の対象	2016 年 4 月～2025 年 4 月に当院で陰圧閉鎖療法(2 項参照ください)を受けられた方
2 研究目的・方法	陰圧閉鎖療法(いんあつへいさりょうほう)という治療法は、傷口にやさしく吸引の力をかけることで、傷から出る液を取り除いたり、血の流れをよくしたり、傷を治すための組織を育てたりする効果があるとされています。最近では、糖尿病による足の傷やけがの後の傷、手術後に感染した傷など、さまざまな場面で使われるようになってきていて、効果があるという報告も増えています。 しかし、この治療がどんな人に向いているか、どれくらい効果があるか、また副作用が出たときの対応などについては、まだ詳しく調べる必要があります。 この研究では、過去に手術を行い陰圧閉鎖療法を受けた患者さんを対象に、診療録の情報よりこの治療法の有効性を検討します。傷の治りを早くしたり、感染を防いだり、手術後のトラブルを減らしたりする効果があるかを確認することで、今後の標準的な治療法として広く使えるようになる可能性があります。 研究の期間:施設院長許可後(2025 年 10 月予定)～2028 年 4 月
3 情報の利用拒否	情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としません。その場合は、「6. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。 ただし、ご了承頂けない旨の意思表示があった時点で既にデータ解析が終わっている場合など、データから除けない場合もあり、ご希望に添えない場合もあります。
4 研究に用いる情報の種類	年齢、性別、身長、体重、BMI(ボディマス指数)、既往歴、病歴(主訴・症状)、血液検査データ、手術所見、経過 等
5 個人情報の取り扱い	収集したデータは、誰のデータか分からないように加工した上で、統計的処理を行います。国が定めた「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」に則って、個人情報を厳重に保護し、研究結果の発表に際しても、個人が特定されない形で行います。
6 お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

	研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先: 湘南鎌倉総合病院 救急総合外科 村田 宇謙 住所:神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 連絡先:0467-46-1717
--	---

2025 年 10 月 30 日作成(第 1.1 版)